

令和7年度 千葉県公立高等学校入学者選抜に関する協議会 (第2回) 配付資料

ページ

開催要項----- 1

委員名簿----- 2

【資料】

- ・ 令和7年度千葉県公立高等学校入学者選抜に関する協議会（第1回）
の概要----- 3
- ・ 入学許可候補者への配付資料の配付状況について----- 7
- ・ 調査書における部活動等の記録の在り方について----- 7
- ・ 外国人の特別入学者選抜について----- 8
- ・ 転学試験における受験要件の緩和について----- 10
- ・ 入学者選抜の日程について----- 12
- ・ 令和9年度千葉県県立中学校入学者決定における報告書について----- 13

【別配付資料】

- ・ 千葉県公立高等学校入学者選抜日程について（案）

令和7年10月6日（月）
千葉県庁 議会棟1階 会議室1・2

令和7年度 千葉県公立高等学校入学者選抜に関する協議会（第2回）
開 催 要 項

1 日 時 令和7年10月6日（月） 午前10時から正午まで

2 会 場 千葉県庁 議会棟1階 会議室1・2
千葉県中央区市場町1-1
043-223-4056

3 次 第

(1) 開会のことば

(2) 県教育委員会挨拶

(3) 委員紹介

(4) 報告

令和7年度千葉県公立高等学校入学者選抜に関する協議会（第1回）の概要

(5) 協議

ア 現行の千葉県公立高等学校入学者選抜の課題について

イ 令和9年度千葉県公立高等学校入学者選抜日程案について

ウ 令和9年度千葉県県立中学校入学者決定の課題について

エ その他

(6) 閉会のことば

令和7年度千葉県公立高等学校入学者選抜に関する協議会 委員名簿

No.	氏 名	職 名	備 考
1	佐藤 智司	千葉大学 副学長	大学関係者
2	野上 亮	淑徳大学 千葉キャンパス アドミッションセンター 千葉オフィス課長	大学関係者
3	吉野 毅	千葉県商工会議所連合会 専務理事	企業関係者
4	高梨 祐介	千葉県立千葉高等学校長 (千葉県高等学校校長会 会長)	高等学校校長会 会長
5	中村 孝幸	千葉県立茂原高等学校長 (千葉県高等学校校長会 高校入試対策委員長)	高校入試対策委員長
6	神子 純一	館山市立館山中学校長 (千葉県中学校長会 会長)	中学校長会 会長
7	丸 庸仁	成田市立成田中学校長 (千葉県中学校長会 進路指導部長)	進路指導部長
8	宮崎 晶子	習志野市立津田沼小学校長 (千葉県小学校長会 会長)	小学校校長会 会長
9	川並 芳純	光英VERITAS中学校・高等学校長	私立学校代表
10	石井 浩己	館山市教育委員会教育長	市教育長
11	富永 安男	鋸南町教育委員会教育長	町村教育長
12	鶴岡 克彦	千葉市教育委員会教育長	政令市教育長
13	根本 吉晴	千葉県高等学校PTA連合会 会長	PTA代表
14	富田 勇人	千葉県PTA連絡協議会 会長	PTA代表

令和7年度千葉県公立高等学校入学者選抜に関する協議会（第1回）【概要】

日 時：令和7年7月31日（木）

午後2時30分から午後4時30分まで

会 場：千葉県庁 議会棟1階 会議室1・2

1 出席委員（敬称略・名簿順）

佐藤 智司、野上 亮、吉野 毅、高梨 祐介、中村 孝幸、神子 純一、丸 庸仁、
宮崎 晶子、石井 浩己（副会長）、富永 安男（会長）、根本 吉晴、富田 勇人

2 次第

- (1) 開会のことば
- (2) 県教育委員会挨拶
- (3) 委員紹介
- (4) 会長、副会長選出
- (5) 報告

ア 令和7年度千葉県公立高等学校入学者選抜について

(ア) 結果について

(イ) 調査書の評定について

(ウ) 中学校及び高等学校からの意見について

イ 令和8年度千葉県公立高等学校入学者選抜について

(ア) 入試日程について

(イ) 令和8年度千葉県県立高等学校第1学年入学者選抜要項について（別配付資料）

ウ その他

(6) 協議

ア 現行の千葉県公立高等学校入学者選抜の課題について

イ 令和9年度千葉県公立高等学校入学者選抜日程案について

ウ その他

・令和9年度千葉県県立中学校入学者決定の課題について

(7) 閉会のことば

3 報告に対する意見・要望等

(1) 令和7年度千葉県公立高等学校入学者選抜について

- ・全ての公立高等学校でインターネット出願になったが、特に大きな混乱もなく良かった。書類の作成・修正・提出等が容易になった。高等学校の職員の業務改善だけではなく、中学校の職員の業務改善にもつながったと感じる。
- ・調査書等の提出書類は、志願する高等学校ごとに中学校が郵送している状況である。郵送費用も発生しているので、セキュリティ面などの懸念点もあるが、提出書類の電子化も検討してほしい。

【事】今年度も調査書等は、中学校で取りまとめ、志願する高等学校に郵送する方向で進めていきたい。最終的には、調査書の電子化を目標としている。

- ・インターネット出願については、高等学校もおおむね良好であった。
- ・採点の精度は上がってきているが、採点に時間がかかる学校とそうではない学校の二極化が進んでいる。時間は限られているので、学校の負担も考えてもらいたい。
- ・記述の採点に時間がかかっている。大学入学共通テストのように高校入試も5教科はマークシート型とし、学校設定検査等で工夫していくのはどうか。マークシートでも思考力が測れるよう問題等を工夫してほしい。

【事】採点に時間がかかる学校があることは承知している。他県の状況等を踏まえて研究していきたい。

- ・インターネット上での資料配付はありがたい。合格発表時に配付物があるか、また、どの程度なのかを中学校としても把握しておきたい。ダウンロードによる資料配付を行っている学校数についても知りたい。

【事】可能な限り、インターネット上での資料配付をお願いしている。ダウンロードによる資料配付を行う学校は増えている。詳しい数字については、次回示したい。

- ・インターネット出願の際の個人データの入力方法について、基本情報を登録後に高等学校名を最後に入力できるようにしてほしい。

【事】今年度からの変更はできないが、改修項目として検討していく。

(2) 令和8年度千葉県公立高等学校入学者選抜について

- ・障害等のある志願者に対する特別配慮は残るのか。

【事】障害等のある志願者に対する特別配慮は残る。様式の一部変更を予定している。

4 協議内容

(1) 現行の千葉県公立高等学校入学者選抜の課題について

【事務局説明概要】

○調査書における部活動の記録の在り方について

- ・今年度の入学者選抜から、調査書の「出欠の記録」、「行動の記録（第3学年）」、「総合的な学習の時間の記録」及び「総合所見」を削除することとした。
- ・調査書の「部活動の記録」の活用状況は、各都道府県によって様々。
- ・千葉県では、一部の学校や、一部の形態の選抜のみで部活動の実績を加点しており、活用の状況は学校によって様々。
- ・調査書における部活動の記録の在り方について御意見をいただきたい。

○外国人の特別入学者選抜について

- ・受検者数が非常に少ない学校がある一方、受検者数が非常に多く、面接と作文だけで選抜することが難しい学校がある。
- ・選抜方法の改善案について御意見をいただきたい。

○転学について

- ・保護者の転勤やいじめ等の個別の事情のみを転学試験の受験要件にしている。
- ・保護者の転勤等による一家転住の場合やいじめ等の緊急的な配慮が必要な場合に
加え、登校しづらい状況があり、在籍校で教育を受けることが困難な場合について
も教育課程上支障がなければ、転学試験の受験を認める方向で検討している。
- ・転学試験の受験要件について、御意見をいただきたい。

ア 調査書における部活動の記録の在り方について

- ・4項目を削除したことの影響について検証してほしい。
- ・部活動の記録の加点の状況について教えてほしい。

【事】削除したことによる影響については、アンケート調査等で検証していきたい。部活動の加点については、各校によって違うので、次回、詳しく説明したい。

- ・どのような背景があつて、部活動の記録の在り方が見直されることになったのか。

【事】中学校において部活動の地域展開が進んでいること、学力検査だけではなく中学校での頑張りを幅広く評価する必要があることなどが背景である。

- ・千葉県では比較的多くの学校で部活動の記録の欄を活用しているが、単純にこの欄を削るのか、特別活動の記録の中に部活動を設けるのか、高校での活用状況を知った上で、協議していきたい。
- ・多面的に評価する入学者選抜という趣旨でいくならば、この欄がなくなると困る学校もあるのではないか。慎重に議論すべき。
- ・生徒によっては、書くことが全くない子もいる。逆に欄に収まりきらない子もいる。上位3つまでなど、限定するのはどうか。
- 【事】加点の仕方が違うので統一することは難しい。
- ・地域展開などもあり、部活動の形態が変化してきている。どこまで載せるべきか。
- 【事】聞き取りなどを丁寧に行い、地域展開も踏まえた検討をしていきたい。
- ・欄が残っていてもよいのではないかな。
- ・子供にとってどうかを考えて取り組むべき議題である。
- ・活用していないなら、なぜ活用していないのかも調べていただけるとよい。

イ 外国人の特別入学者選抜について

- ・具体的には、どのような背景があつて、実施が難しいのか教えていただきたい。

【事】学力検査を行っていないので、面接と作文だけでは優劣をつけがたい状況がある。

- ・同じ土俵で学力を測った方が良いという考え方もある。
- ・面接を数多く行う労力も理解できる。また、作文と面接だけでは、基礎学力が疎かになる懸念もある。学力検査を実施することで、千葉県では基礎学力のある生徒をとるという意思表示をするという考え方もある。

- ・学区ごとにどのくらい外国人の特別入学者選抜を行っているのか。
- ・外国人の特別入学者選抜の趣旨や公教育の使命を踏まえると、単純に学力を比較するのは、そぐわないのではないか。
- ・そもそも日本語が分からないので、学力が測れない。母国語に合わせてあげたいが、現状では難しいだろう。
- ・外国人の特別入学者選抜にはどのような志願要件があるのか。
- ・入学時だけでなく入学後の支援も大切。

【事】学区ごとの志願者の情報については、次回示したい。志願要件については、入国後、在日期間3年以内となっている。入学後の手立てについても、関係課と連携して対応していきたい。

ウ 転学について

- ・具体的な事例を挙げて、それを通していろいろな角度で検証していけると良い。
- ・転学に関しては、教育課程上支障がなければ受け入れるべき。
- ・受け入れるからには、責任が生じる。外国生活が長い生徒を受け入れる際には、学校の体制も大切。

(2) 令和9年度千葉県公立高等学校入学者選抜日程案について

【事務局説明概要】

- 一般入学者選抜本検査の日程を「2月の第3火曜日、水曜日」に固定した原案を提示
- ・原案について御意見をいただきたい。

- ・採点に要する時間や追検査等を踏まえると、事務局の提案した日が適当。
- ・中学校としても、日程的には問題なく、提案に同意。
- ・令和10年度までは良いが、令和11年度は、1週間遅れてしまうスケジュールとなり、心配ではある。

【事】年度ごとに検討はしていただくが、基本は原案で進めさせていただきたい。

(3) その他

【事務局説明概要】

- 令和9年度千葉県県立中学校入学者決定の課題について
- ・第2回協議会から議題とし、御意見をいただきたい。

- ・第2回協議会から議題にすることに異議なし。

入学許可候補者への配付資料の配付状況について

1 配付状況

配付方法	割合
窓口	43%
窓口とウェブサイト	22%
郵送	7%
郵送とウェブサイト	1%
ウェブサイト	28%



- 約65%の高等学校では、対面で資料を配付している。
- 約30%の高等学校では、ウェブサイト（特設サイト）のみで資料を配付している。

※「令和7年度千葉県公立高等学校入学者選抜等に係るアンケート」より（令和7年3月実施）

※四捨五入の関係で、回答の割合の計が100%になっていない。

2 資料を入学許可候補者発表日に窓口で直接配付した主な理由

- インターネットが利用できない候補者や外国籍の候補者が多く、対面での説明や対応が必要だったため。
- 健康の記録、心疾患調査票、個人カード、身分証明書等、所定の用紙に記入して提出してもらう必要のある書類が含まれるため。
- 事務関係の書類（口座振替依頼書、身分証明書など）がウェブにアップロードできないため。

調査書における部活動等の記録の在り方について

1 千葉県における部活動の記録の加点状況

活用状況	割合
加点していない	22%
最上位の記録のみ加点	54%
複数の記録を上限まで加点	19%
その他	4%



- 約80%の高等学校では、部活動の記録を調査書の得点に加点している。
- 部長経験や3年間の継続を加点している高等学校もある。

※「令和7年度千葉県公立高等学校入学者選抜等に係るアンケート」より（令和7年3月実施）

※四捨五入の関係で、回答の割合の計が100%になっていない。

外国人の特別入学者選抜について

1 令和8年度入学者選抜における外国人の特別入学者選抜実施校

学区	全日制の課程	定時制の課程
1	京葉工業高校・幕張総合高校・柏井高校	千葉商業高校・千葉工業高校・生浜高校
2	八千代東高校・市川昂高校・松戸国際高校 市立松戸高校	県立船橋高校・市川工業高校・松戸南高校
3	流山おおたかの森高校・市立柏高校	東葛飾高校
4	成田国際高校・富里高校	佐倉南高校
5	多古高校 ※	佐原高校・銚子商業高校・匝瑳高校
6	九十九里高校 ※	東金高校
7	大原高校 ※	長生高校
8	安房拓心高校 ※	長狭高校・館山総合高校
9	市原八幡高校	木更津東高校

※令和8年度入学者選抜から、新たに外国人の特別入学者選抜を実施する学校

2 外国人の特別入学者選抜における学区ごとの受検者数（令和5年度～7年度選抜）

学区	令和5年度入学者選抜			令和6年度入学者選抜			令和7年度入学者選抜		
	全日制	定時制	合計	全日制	定時制	合計	全日制	定時制	合計
1	9	6	15	18	6	24	30	8	38
2	27	2	29	18	11	29	43	10	53
3	8	0	8	14	0	14	13	0	13
4	18	4	22	27	4	31	37	6	43
5		3	3		1	1		0	0
6		0	0		1	1		1	1
7		0	0		2	2		1	1
8		0	0		0	0		0	0
9	3	2	5	2	4	6	8	3	11
合計	65	17	82	79	29	108	131	29	160

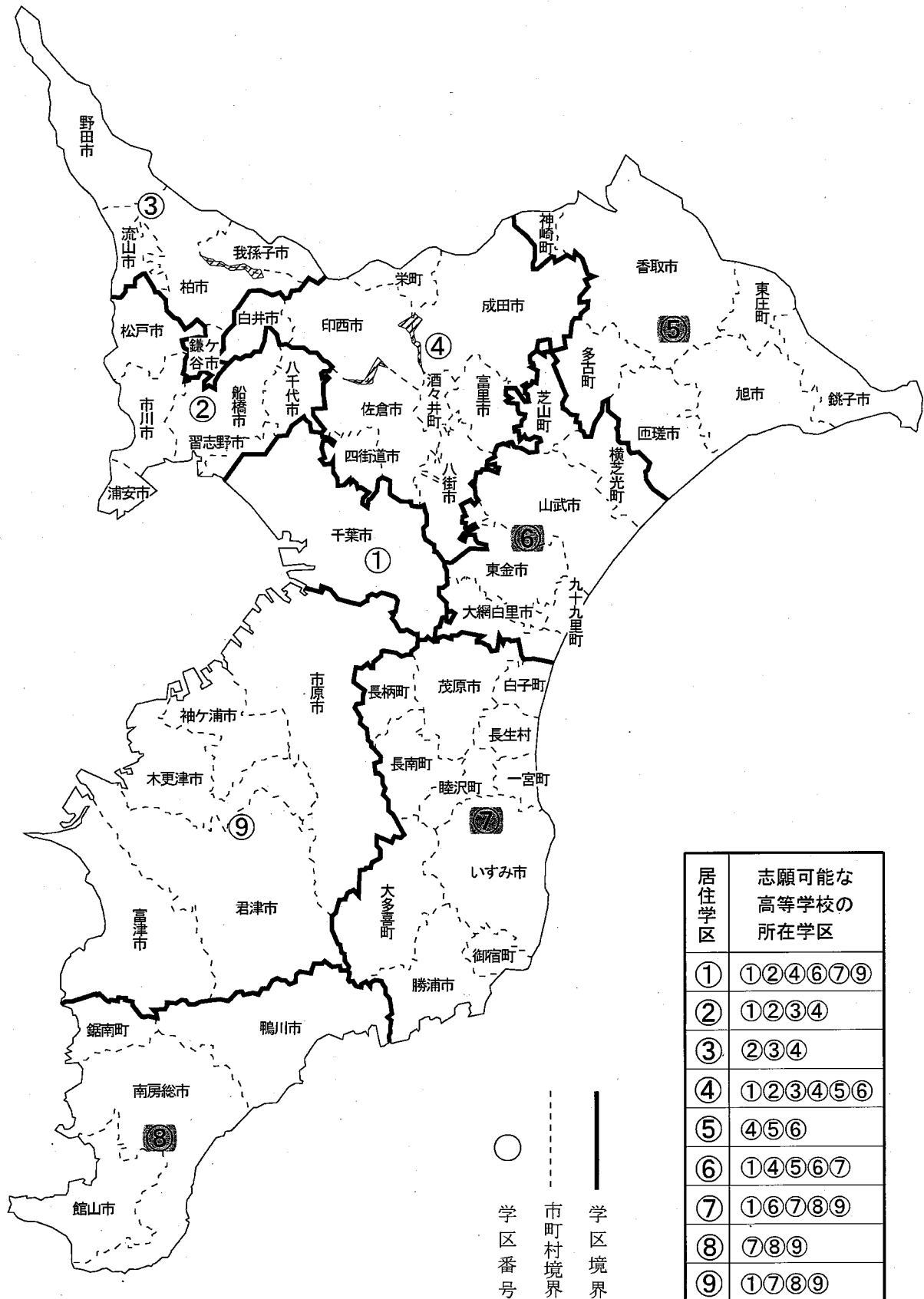
3 改善の方向（検査内容）

	検査内容	備考
案1	作文検査＋面接検査	今年度と変更なし
案2	国・数・英の学力検査＋学校設定検査	海外帰国生徒の特選と同じ
案3	（国・数・英の学力検査 or 作文検査）＋面接検査	

※学校設定検査

面接、集団討論、自己表現、作文、小論文、適性検査、学校独自問題による検査及びその他の検査（思考力を問う問題又はその他）のうちから、各高等学校において、期待する生徒像に基づいた検査・評価方法としてふさわしいものをいずれか一つ以上選び実施する。

県立高等学校全日制の課程普通科通学区域図



転学試験における受験要件の緩和について

1 事務局案

- 教育課程上支障がなければ、次の場合、転学試験の受験を認める。

- ①保護者の転勤等による一家転住の場合
- ②いじめ等の緊急的な配慮が必要な場合
- ③在籍校で教育を受けることが困難な場合

※対象は全ての県立高等学校とする。

2 第1回協議会における委員からの御意見（抜粋）

- 具体的な事例を挙げて、検証していけると良い。
- 教育課程上支障がなければ受け入れるべき。

3 教育課程上支障がある場合の例

【普通科と専門学科の間の転学】

履修科目が大きく異なったり、実習の時間が多かったりするため、補習等を実施しても教育課程を接続することが困難である。〔資料参照〕

4 在籍校で教育を受けることが困難な場合の例

【人間関係上の理由】

教員又は友人との間でトラブルが起こった等

【健康上の理由】

疾患により、遠方の学校への通学が困難になった等

【経済的な理由】

家計の急変により、通学に支障が出ている等

5 参考

学校教育法施行規則 第92条

他の高等学校に転学を志望する生徒のある時は、校長は、その事由を具し、生徒の在学証明書その他必要な書類を転学先の校長に送付しなければならない。転学先の校長は、教育上支障がない場合には、転学を許可することができる。

2 全日制の課程、定時制の課程及び通信制の課程相互の間の転学又は転籍については、修得した単位に応じて、相当学年に転入することができる。

協議

ア 現行の千葉県公立高等学校入学者選抜の課題について

教育課程の違いについて

単位	千葉商業高校 商業科	千葉西高校 普通科
	1年	1年
1	現代の国語	現代の国語
2		
3	言語文化	言語文化
4		
5	地理総合	地理総合
6		
7	数学Ⅰ	数学Ⅰ
8		
9		
10	科学と人間生活	数学A
11		
12	体育	公共
13		
14	保健	化学基礎
15		
16	英語Ⅰ	生物基礎
17		
18	論理表現Ⅰ	体育
19		
20	ビジネス基礎	保健
21		
22	簿記	芸術Ⅰ
23		
24		英語Ⅰ
25		
26	情報処理	論理表現Ⅰ
27		
28		情報Ⅰ
29		
30	総合	総合
31	ICT	ICT
32		

網掛けは両校で共通している科目

入学者選抜の日程について

1 日程決定の確認事項

(1) 中学校からの要望

- 事前指導（健康観察含む）のため、学力検査前日を課業日とする
→学力検査1日目を月曜日以外に設定

(2) 高等学校からの要望

- 採点業務の時間を確保するため、学力検査の翌日を課業日とする
→学力検査1日目を火曜日 or 水曜日に設定
- 採点及び点検業務の時間を確保するため、学力検査から発表までを中7日（課業日）間とする

(3) 私立高等学校からの要望

- 私立高等学校の後期入試への配慮
◇県内私立高等学校後期入試：2月15日～
◇私立高等学校併願者の入学金納入期限：3月5日～
→一般入学者選抜の入学許可候補者発表を3月4日までに設定

2 令和9年度千葉県公立高等学校入学者選抜日程案

一般_出願書類等の提出期間	2月2日（火）、3日（水）、4日（木）
▼	中2日（課業日）
一般_志願又は希望の変更の受付期間	2月9日（火）、10日（水）
▼	中2日（課業日）
一般_本検査 2月第3火曜日、水曜日	2月16日（火）、17日（水）
▼	中4日（課業日）
一般_追検査	2月25日（木）
▼	中2日（課業日）
一般_入学許可候補者発表	3月2日（火）
▼	中5日（課業日）
第2次募集_検査	3月10日（水）
▼	中1日（課業日）
第2次募集_入学許可候補者発表	3月12日（金）

令和9年度千葉県県立中学校入学者決定における報告書について

1 千葉県県立中学校入学者決定における報告書の記載項目

	現 在		令和9年度入学者決定からの案
1	各教科の学習の記録	1	各教科の学習の記録
2	総合的な学習の時間の記録	2	総合的な学習の時間の記録
3	特別活動の記録		
4	行動の記録		
5	出欠の記録		
6	総合所見及び指導上参考となる諸事項		

【報告書の記載項目を精選する理由】

高等学校入学者選抜における調査書の記載項目の精選に倣い、配慮の必要な志願者の心理的負担等とならないよう、報告書の記載項目を精選する。

2 令和8年度千葉県県立中学校第1学年入学者決定の概要

(1) 募集定員

千葉中学校 : 80名

東葛飾中学校 : 80名

(2) 検査日程等

日程	内容	備考
12月6日(土)	一次検査	● 適性検査1-1 (45分) ● 適性検査1-2 (45分)

12月17日(水)	一次検査 結果の発表	一次検査の結果を資料とし、各中学校の校長があらかじめ定めた方法により二次検査受検候補者を決定する。なお、二次検査受検候補者の人数は募集定員の4倍程度とする。 二次検査の受検者は、報告書、志願理由書、自己申告書(任意)を提出する。
-----------	---------------	---

1月24日(土)	二次検査	● 適性検査2-1 (45分) ● 適性検査2-2 (45分) ● 面接等各中学校の校長が別に定める検査
----------	------	--

1月30日(金)	二次検査 結果の発表	小学校の校長が作成した報告書、志願者から提出された志願理由書の書類の審査並びに一次検査及び二次検査の結果を資料とし、各中学校の校長があらかじめ定めた方法により、各中学校で行う学習活動への適性等を総合的に判定して、入学許可候補者の内定を行う。
----------	---------------	--

報 告 書
(県立中学校用)

受検番号	ふりがな	ちば はなこ	性別
※	氏 名	千 葉 花 子	女

1 各教科の学習の記録						2 総合的な学習の時間の記録					
教科	観 点 別 学 習 状 況			評 定		学習活動・評価					
	観 点	5年	6年	5年	6年						
国語	知識・技能	A	A	3	3	5年	環境に及ぼす影響について話し合いを重ね、生物の多様性を守るための取組について新聞にまとめた。				
	思考・判断・表現	A	A								
	主体的に学習に取り組む態度	A	A								
社会	知識・技能	A	A	2	3				6年	地域の祭りに関心をもち、資料館で調べたり、実際に参加したりして、祭りの良さや大切さを実感した。また、伝統行事を受け継ぐために自分たちにできることを話し合い、地域に発表した。	
	思考・判断・表現	B	A								
	主体的に学習に取り組む態度	B	A								
算数	知識・技能	A	A	3	3						
	思考・判断・表現	A	A								
	主体的に学習に取り組む態度	A	A								
理科	知識・技能	B	A	2	3						
	思考・判断・表現	A	A								
	主体的に学習に取り組む態度	B	A								
音楽	知識・技能	B	B	2	2						
	思考・判断・表現	B	B								
	主体的に学習に取り組む態度	B	B								
図画工作	知識・技能	A	A	2	3						
	思考・判断・表現	B	A								
	主体的に学習に取り組む態度	B	A								
家庭	知識・技能	B	A	2	3						
	思考・判断・表現	B	B								
	主体的に学習に取り組む態度	A	A								
体育	知識・技能	B	B	2	2						
	思考・判断・表現	B	B								
	主体的に学習に取り組む態度	B	A								
外国語	知識・技能	A	A	2	2						
	思考・判断・表現	B	B								
	主体的に学習に取り組む態度	B	A								
評 定 合 計				20	24						
5 出欠の記録											
学年	欠席日数	主な欠席理由									
5年	3	骨折による入院3日									
6年	0	／									
6 総合所見及び指導上参考となる諸事項											
基本的な生活習慣が身に付いている。明るく積極的にコミュニケーションをとり、友達をたくさんつくることができた。学習面でもよく努力をし、どの学習にも意欲的に取り組んだ。特に理科への関心が高く、実験結果をもとに熱心に考察した。6年では学級委員長としての自覚をもち、責任感をもって取り組んだ。 令和6年度千葉県児童生徒科学作品展 科学工芸作品の部 優良賞 受賞											
本書の記載事項に誤りのないことを証明します。 学 校 名 ○○市立○○小学校 校 長 名 美 浜 海 雄 印 令和 6年 12月 25日 記載責任者 職 氏名 教 諭 若 葉 育 子											

 項目を削除予定

様式2 (A4判縦長) (4ページ参照)

受検番号

志 願 理 由 書

年 月 日

☐ 千葉県立千葉中学校長

様

☐ 千葉県立東葛飾中学校長

小学校名

志願者氏名

保護者氏名

私が貴校を志願する理由は、次のとおりです。

志願する理由

入学後、取り組みたいこと (将来の夢や希望をふまえて)

私が小学校*で取り組んできたことは、次のとおりです。
(校内や校外の活動、趣味や特技、資格、受賞など)

その他 (自己アピール等)

注意

- 1 千葉県立千葉中学校志願者は千葉県立千葉中学校長の□に、千葉県立東葛飾中学校志願者は千葉県立東葛飾中学校長の□にレを記入すること。
- 2 受検番号、小学校名及び志願者氏名は、志願者が黒のボールペン又は万年筆を使用して記入すること。
- 3 保護者氏名は、保護者が黒のボールペン又は万年筆を使用して記入すること。
- 4 上記のわくの中は、志願者が鉛筆 (HB、B 又は 2B) 等で、はっきり書くこと。
- 5 *は、特別支援学校の小学部又は義務教育学校の前期課程を含むものとする。
- 6 この志願理由書は、報告書等とともに必ず提出すること。